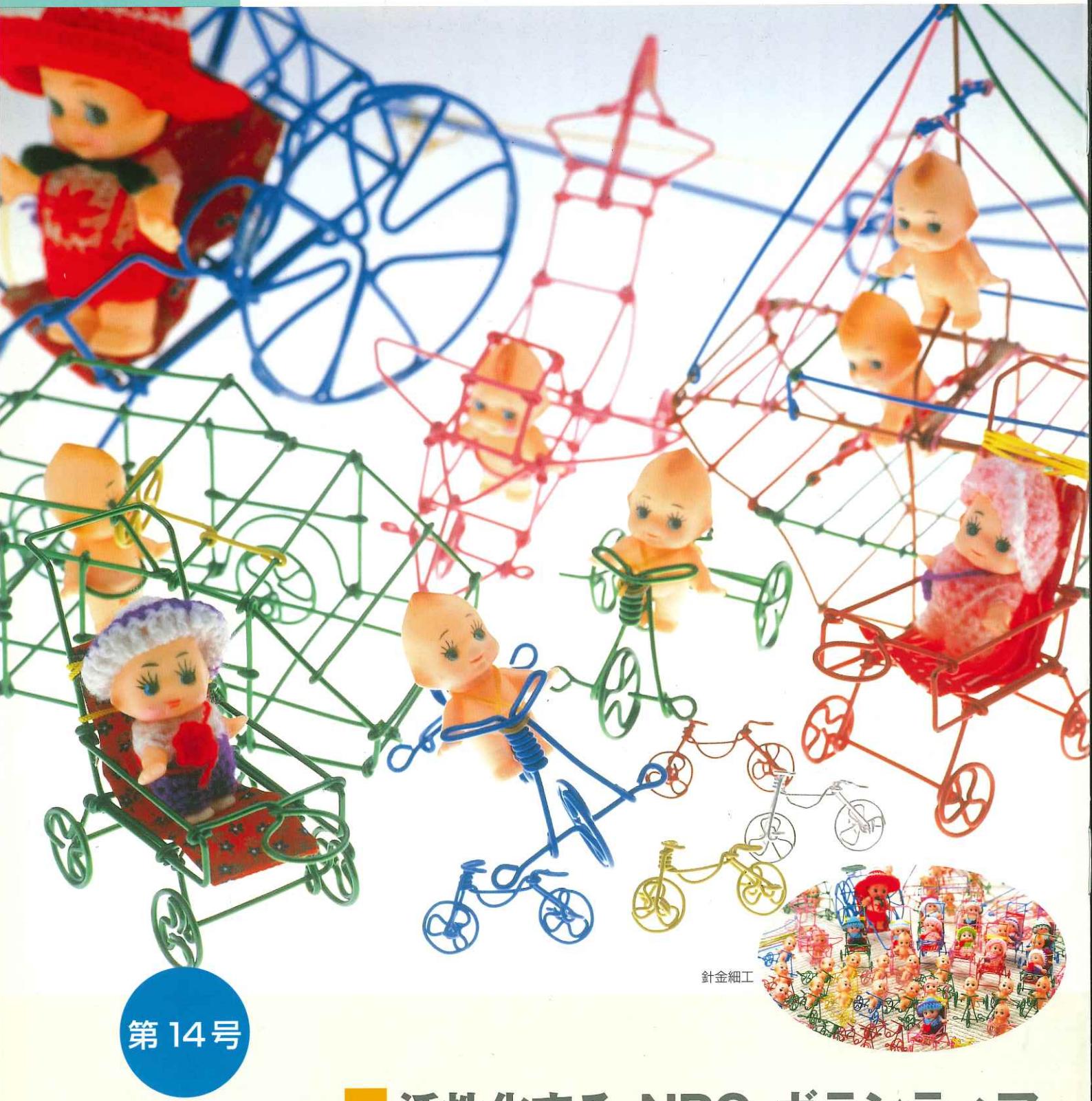


ボランティア OSAKA



第14号

'98 / SUMMER

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

特集 活性化する、NPO・ボランティア
サポートセンター

針金細工

[特集]

NPO・ボランティア 活性化する、 サポートセンター

NPO法、いよいよティクオフ

6月に国会を通過した特定非営利活動促進法（NPO法）が、施行まで約3ヶ月となりました。市民活動などの推進と促進を目的に作られたこの法律の施行により、ボランティア活動も新たな局面を迎えることになります。

NPOとはノン・プロフィット・オーガニゼーションの略で、言うまでもなく民間非営利団体。ボランティアグループももちろんNPOですが、比較的、組織性や自己統治性を備えた団体を指して使われることが多いようです。

NPO法は、そうしたボランティア・市民活動団体などの法人格取得を容易にすることで、市民団体や民間の公益活動を社会的にパックアップしようというものであるのは改めて言うまでもありません。そして12月1日の法施行を控え、いま、少なくない団体・グループが法人格取得の準備をスタートさせていると言われています。

ットは何でしょうか。まず、法人として、財産保有、契約行為、銀行口座の開設などが行えるようになります。これまで任意団体は、それらの行為を代表者が個人として行わねばならなかつたため、さまざまな煩わしさと負担がありました。その負担が法人化によって軽減されることになるわけです。2点目として、法人格のあることを条件とした助成の対象となることができるなどというメリットも挙げられています。さらに近い将来には、税制上の優遇措置も付け加わるかもしれません。

今回の法案では実現しませんでしたが、成立了したNPO法案では付帯決議で「施行から2年以内に税制優遇措置などについて見直す」と取り決められているからです。

このように、公益活動におけるビッグバンとも言われるこの法案の成立で、草の根のボランティア活動も大きくはばたくチャンスが与えられたと言つてもいいでしょ。結果、法人格を取得し、欧米のNPOにも並ぶ社会的影響力を持つNPOも出てくるかもしれません。

現在は高槻市で、地元の小学校の子どもたちや老人会のお年寄りに作り方を教えてたり、また地域のボランティア祭りに協力したり…といった活動に取り組んでいます。いろいろな催しがあるたびに制作をお願いします。いろいろな催しがあるたびに制作をお願いします。いろいろな催しがあるたびに制作をお願いします。いろいろな催しがあるたびに制作をお願いします。



COVER PHOTO (表紙の写真)
竹内恒治さん (高槻市・89歳)

せん。まさに市民がボランティアという形でさまざまな社会問題に関与しながら社会変革に参加し、本当の市民参加型社会の実現に大きく一歩前進する・それをバックアップするのがNPO法…と言つてもいいでしよう。

続々と誕生する、 地域のサポートセンター

経済企画庁などの調査によれば、わが国のNPOはいま、全国で約8万6000団体あると言われています。一般に、その内の約1割が法人格取得に動くと言われていますが、ここにきて、こうしたボランティアやNPOをバックアップする、いわばボランティアのためのNPO、NPOのためのNPOとも言うべきサポート機関が、次々と設立され、活動を開始しています。こうしたサポート機関をインターミディアイ（仲介機関）とも言いますが、日本NPOセンターの調査では、現在全国で約30のインターミディアイリーが活動をしています。いわゆる「ボランティア元年」とも言わたった1995年から3年が経ち、わが国にもすかり定着したボランティア活動。しかし、まだまだ人材、情報、財政面では稀弱で、さまざまな困難を抱えている団体が多いのが現実。そうした意味からも、こうしたインターミディアイー、とりわけ地域のボランティアグループやNPOをバックアップするサポート機関やコーディネート機関の役割はますます重要な役割になると見られます。

その中には、従来より地域福祉活動のまとめ役であった社会福祉協議会ボランティアセンターはもちろん、草の根のNPOサポートセンター、市町村行政がバックアップするサポートセ

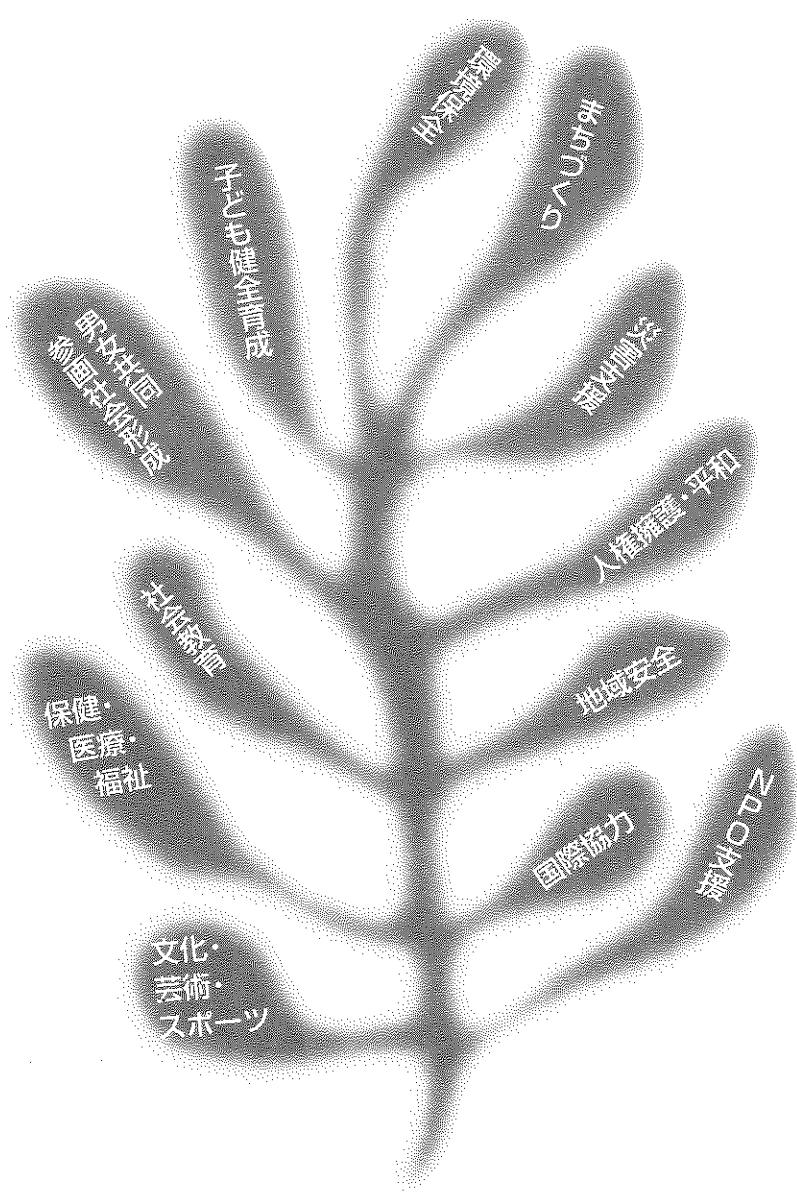
ンターなど、さまざまなタイプがあり、今後はそこに、新たなタイプのサポート機関も加わってくるかもしれません。それはともかく、ここにきて、こうしたボランティアコーディネート機関、NPOのためのNPOが大きく注目され始めているのは確かなところ。

そこで今回は、こうした地域のボランティアやNPOを支えるコーディネート機関、NPOサポート機関にスポットをあて、その活動を紹介しながら、市民活動の分野を超えたネットワークについて考えてみたいと思います。

「毎日、ラジオペーパーを持って5時間は針金をいじっている。老化防止にも役立つし、何よりも作品をフレゼントしたとき人様に喜んでいただけるのが嬉しい」と語る竹内さん。長年の経験をボランティアに活かす・そんな素敵な活動に、大きな拍手を送りたいものです。



NPO法が適用される「特定非営利活動」の12分野



NPOと連携し、市民団体の交流拠点をめざす

高槻市ボランティアセンター



パプアニューギニアの水害の救援物資を整理する松永信雄さんたち

まな分野のボランティア情報を提供する場をめざして活動しています」と語ります。

市民の方々が入りやすく、親近感のもてる施設：そうした地域オリエンテッド（地域志向）な姿勢が、多くのボランティアが出入りしている要因なのかもしれません。

さらに、福祉以外にもウイングを広げたい：という姿勢も注目されます。この日も、先日起きたパプアニューギニアの水害の救援物資を主婦が持ち込んで来たり、学生たちがボランティア活動の情報収集に来たりと、多くの人が、多彩なプログラムを求め、気軽に出入りしているのが高槻市ボランティアセンターの特徴であるようです。

高槻市ボランティアセンターは、昭和57年4月にさまざまなボランティア活動や情報を提供するセンターとして開設され、62年に現在の、立地条件のよいJR高槻の駅前に事務所を移転しました。現在は職員1人、臨時職員1人、そしてボランティアコーディネーター6人で活動しています。職員の松永喜雄さんは「市民の方々が入りやすく、親近感のもてる施設であること、そして福祉だけに限らず、国際協力、環境保全などの、地域に合ったさまざま

とで新しい活動がスタートすることも。まさに地域の交流拠点としても機能している高槻市ボランティアセンター。

事務所内に積み上げられたバブニアニューギニアへの救援物資の段ボールが、ここを拠点に活動する人たちの大好きなパワーを象徴しています。

ボランティア活動の総合窓口をめざして

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンター



街へ出かけて車椅子体験

阪神・淡路大震災時に大阪府内の全壊・半壊家屋の8割を出した豊中市。急きよ設置された震災支援ボランティアセンターでは、全国から集まつた5000人のボランティアを適切にコーディネートし、行政・市民から評価されました。これも、豊中市社会福祉協議会ボランティアセンターに校区単位のきめ細かなボランティア活動や要援護者の組織化などをはじめとした、ネットワーキングのノウハウがあつたからこそできたといえましょう。

昨年で設立10周年を迎えた同センター。「はじめてニーズありきで、市民など、多彩な活動に取り組む団体の参加も増えつつあります」と松永さん。そして「社協のボランティアセンターはまだまだ情報がないのが実情。しかし今後は、地域のサポート機関としてより大きな役割を果たしていきたい」と抱負を語ります。さまざまな団体が事務所に入り出し、そこで知り合うこ



立地条件のよいJR高槻駅前の事務所

会のボランティア講座を企画。そのほか、ホームページの開設などで、企業との連携を深めていく考えです。

NPO法案や介護保険の成立を受け、これからますます多彩になるボランティア活動の事例集の作成や、社会人向けのボランティア講座を企画。そのほか、ホームページの開設などで、企業との連携を深めていく考えです。

30~50代の社会人を集めて開かれたサタディボランティアスクール



30~50代の社会人を集めて開かれたサタディボランティアスクール

内30団体による「災害支援ネットワーク」も結成。災害時の支援活動マニュアルづくりや、合同で災害支援活動訓練などを実施しています。

「震災を契機にさまざまなNPOと連携を深める中で、地域福祉中心のこれまでのボランティア活動が、より広がりを見せるようになった」と勝部さん。市民からさまざまなボランティアに対する要望があつたときにも、ネットワークを活用して適切なコーディネートができるようになりました。同時に、企業とのパートナーシップを深めるための活動にも積極的です。

「一般市民だけでなく、企業や労働組合も地域の構成員の一員。多大な潜在能力を持つ企業のボランティアマインドを育成することで、さらに大きなパワーになる」と考え、企業・団体の社会貢献検討委員会を設置し、社会貢

献活動の事例集の作成や、社会人向けのボランティア講座を企画。そのほか、ホームページの開設などで、企業との連携を深めていく考えです。

NPO法案や介護保険の成立を受け、これからますます多彩になるボランティア活動の事例集の作成や、社会人向けのボランティア講座を企画。そのほか、ホームページの開設などで、企業との連携を深めていく考えです。

内30団体による「災害支援ネットワーク」も結成。災害時の支援活動マニュアルづくりや、合同で災害支援活動訓練などを実施しています。

「震災を契機にさまざまなNPOと連携を深める中で、地域福祉中心のこれまでのボランティア活動が、より広がりを見せるようになった」と勝部さん。市民からさまざまなボランティアに対する要望があつたときにも、ネットワークを活用して適切なコーディネートができるようになりました。同時に、企業とのパートナーシップを深めるための活動にも積極的です。

「一般市民だけでなく、企業や労働組合も地域の構成員の一員。多大な潜在能力を持つ企業のボランティアマインドを育成することで、さらに大きなパワーになる」と考え、企業・団体の社会貢

地域のボランティア活動の新拠点

和泉ボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」

ボランティア活動の楽しさをイメージしたような、明るく近代的ななつくりの和泉ボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」。和泉中央駅のショッピングゾーン・アムゼモールの1階に今年3月13日オープンしました。

和泉市が開設したものと、和泉市社会福祉協議会が管理を受託し、将来的には市民による運営をめざす施設です。

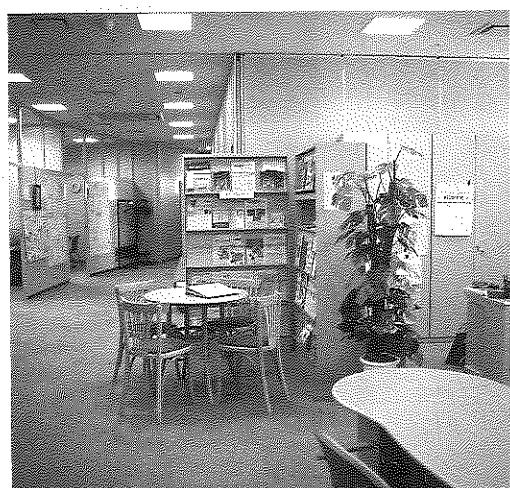
ロビーには、ボランティア情報を検索できるコンピューターや資料棚や閲覧テーブルがあり、オープンしたての町の図書館といった趣。ミーティングルーム等の3部屋と36人収容の大会議室があり、ここでは地元のボランティア

グループがミーティングをしたり、さまざまな催しが行われます。会員として個人ボランティア50名と60のボランティア団体が登録しており、その数は今後、さらに増やしていく計画です。

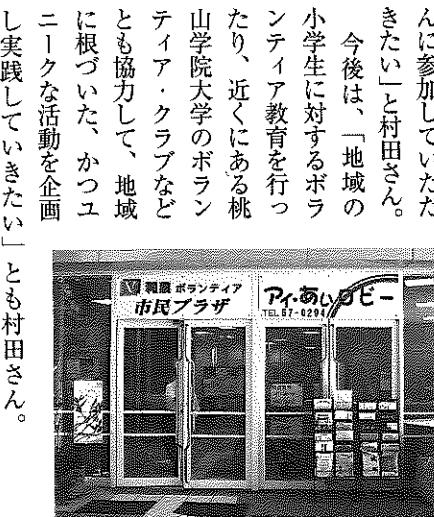
ここに、4月からボランティア・コーディネーターとして勤務するのが村田智美さん。スタートしてまだ数か月ですが、すでに、ボランティア活動を始めたいという女性グループの立ち上げの援助など、コーディネーターとして活躍しています。「サポート・センターとしての活動は始まつたばかりですが、相談の際には、市民の皆さんのが主性を尊重したサポート活動を心掛けています」。



市民からの相談に応じる
コーディネーターの村田智美さん



明るく近代的な「アイ・あいロビー」



に参加していただきたい」と村田さん。

今後は、「地域の

小学生に対するボランティア教育を行つたり、近くにある桃

山学院大学のボランティア・クラブなどとも協力して、地域に根づいたかつユニークな活動を企画

し実践していきたい」とも村田さん。

和泉市社協の門林・事務局長もそんな

村田さんに「従来とは異なる柔軟な発想で、アイ・あいロビーを、市民に愛されるボランティア・センターとして

育てていってほしい」と大いに期待。

場所も、和泉市の副都心としてますま

ず発展が予想される泉北高速・和泉中央駅のすぐそば。お洒落で親しみやすい建物で、どんな素敵な出会いとボランティア活動・NPO活動が芽を吹くか、これからが大いに楽しみです。

内30団体による「災害支援ネットワーク」も結成。災害時の支援活動マニュアルづくりや、合同で災害支援活動訓練などを実施しています。

「震災を契機にさまざまなNPOと連携を深める中で、地域福祉中心のこれまでのボランティア活動が、より広がりを見せるようになった」と勝部さん。市民からさまざまなボランティアに対する要望があつたときにも、ネットワークを活用して適切なコーディネートができるようになりました。同時に、企業とのパートナーシップを深めるための活動にも積極的です。

「一般市民だけでなく、企業や労働組合も地域の構成員の一員。多大な潜在能力を持つ企業のボランティアマインドを育成することで、さらに大きなパワーになる」と考え、企業・団体の社会貢

日本初のNPOサポートセンター

大阪NPOセンター



97年度NPOアワード受賞式。
今年は11月28日開催される

1996年11月21日に設立された大阪NPOセンターは日本初のNPOサポートセンターです。現在、正会員が150（うち市民団体60、企業90）、協力会員（個人）が120となつており、NPO同士あるいは行政・企業とのネットワークの促進を図りながら、NPOの自立と成長をサポートすることを目的としています。

大阪NPOセンターでは①情報・シンクタンク事業②マネジメントサポート事業③ソーシャル・リレーション事業を3本柱として掲げ、数多くの実績をあげてきました。

そして今、NPO法施行を前に最も力を入れているのが、「NPOお助け隊」による法律・会計・税務などの相談事業。これは、法人格取得が自分たちの団体にもたらすメリットや、法人格取得に向けた定款の作り方など、多くのNPO

が抱えている問題に弁護士・会計士・税理士ら専門家が相談に応じるというものです。4月のスタートからすでに40件あまりの相談が寄せられるなど大きな反響があり、「現在5人の相談員を今後は20人に増やし、和歌山や三重など近隣府県への出張相談も計画しています」と真嶋事務局長は語ります。

また、センター内の机を低価格で賃貸し、資金不足に悩むNPOを支援するのもここでのユニークな事業の一つ。「現在5団体が利用していますが、活動拠点の確保に悩む団体に重宝されています」とも。

そのほか、ユニークな試みとしては、ボランティア・市民団体を対象とした「NPOアワード」があります。これは、それらの団体の資金づくりや会員募集の方法、開催しているイベントなどについて、10分間の持ち時間で事業報告をしてもらい、表現力や内容、企画力、創造性、また活動の社会性、継続性、広がりなどの点で優れた団体を表彰するものです。

「昨年11月の第1回NPOアワードでは、応募団体の活動分野が国際交流・国際協力、文化芸術、スポーツ、環境、福祉（高齢者・障害者支援）、青少年育成まちづくり、支援機関、医療、女性

の健康、政策提言など岐にわたっており、分野を超えてさまざまな団体の交流が行われました」とも真嶋事務局長。参加団体数は予想を上回る56団体。賞金は1等が30万円で、2等以下8等まで各10万円。第1位に輝いた『おんなの目で大阪の街を創る会』は、その後マスコミに取り上げられるなど認知度アップにもつながり、結果、多くの支援の輪も広がったとか。

「NPO活動が広がるにつれ、NPO事務局長は語ります。

また、センター内の机を低価格で賃貸し、資金不足に悩むNPOを支援するのもここでのユニークな事業の一つ。「現在5団体が利用していますが、活動拠点の確保に悩む団体に重宝されています」とも。

そのほか、ユニークな試みとしては、ボランティア・市民団体を対象とした「NPOアワード」があります。これは、それらの団体の資金づくりや会員募集の方法、開催しているイベントなどについて、10分間の持ち時間で事業報告をしてもらい、表現力や内容、企画力、創造性、また活動の社会性、継続性、広がりなどの点で優れた団体を表彰するものです。

「昨年11月の第1回NPOアワードでは、応募団体の活動分野が国際交流・国際協力、文化芸術、スポーツ、環境、福祉（高齢者・障害者支援）、青少年育成まちづくり、支援機関、医療、女性

の健康、政策提言など岐にわたっており、分野を超えてさまざまな団体の交流が行われました」とも真嶋事務局長。参加団体数は予想を上回る56団体。賞金は1等が30万円で、2等以下8等まで各10万円。第1位に輝いた『おんなの目で大阪の街を創る会』は、その後マスコミに取り上げられるなど認知度アップにもつながり、結果、多くの支援の輪も広がったとか。

「NPO活動が広がるにつれ、NPO事務局長は語ります。

また、センター内の机を低価格で賃貸し、資金不足に悩むNPOを支援するのもここでのユニークな事業の一つ。「現在5団体が利用していますが、活動拠点の確保に悩む団体に重宝されています」とも。

そのほか、ユニークな試みとしては、ボランティア・市民団体を対象とした「NPOアワード」があります。これは、それらの団体の資金づくりや会員募集の方法、開催しているイベントなどについて、10分間の持ち時間で事業報告をしてもらい、表現力や内容、企画力、創造性、また活動の社会性、継続性、広がりなどの点で優れた団体を表彰するものです。

「昨年11月の第1回NPOアワードでは、応募団体の活動分野が国際交流・国際協力、文化芸術、スポーツ、環境、福祉（高齢者・障害者支援）、青少年育成まちづくり、支援機関、医療、女性



大阪NPOセンター会員市民団体の懇談会

自身の情報開示やアカウンタビリティ（説明責任）が今後ますます社会的に必要とされるでしょう。多くの一般市民や行政、企業等にNPO活動を広め、市民セクターの活動を強化するために、この

ようなNPOを客観的に評価する機会を作っていく」と語ります。

NPO法案施行という追い風を受け、NPOのためのNPO「大阪NPOセンター」に、ますます大きな期待が寄せられています。

市民の、市民による、市民のための活動拠点

八尾市民自治センター

近鉄八尾駅前という交通至便の場所に、今年4月にオープンしたNPOの八尾市民自治センター。八尾市内のさまざまなボランティア・市民団体を対象とした「NPOアワード」があります。これは、行政や企業と協働しながら、八尾のまちづくりについて考え、発言し、行動する、まさに「市民活動の拠点」として発足しました。

「一言でいと、市民の、市民による、市民のためのセンター。今年が八尾市制50年にあたることもあり、市の資金的応援もいただきながら1月に任意団体として発足し、4月に事務所開設にこぎつけました」と事務局長の室雅博さん。

事業内容としては①会員相互の情報交換・交流の場の提供、②まちづくりに関する情報の収集と提供、③講演会や研修会の開催、④ボランティアやNPOとの連携などがあり、そのいずれも、地域の市民活動をバックアップするものであるのは言うまでもありません。しかしエニークなのが⑤番目の、調査・研究・政策の提言…という事業項目。これについて室さんは、「センター発足の直接のきっかけは、八尾市が設置した2001年市民懇談会からの『市民と行政が同じ情報を共有し、一緒に考え、政策も提言できるような協働の場が必要』という提言でした。考えてみれば、行政と学者のシンクタンクというのはこれまで少なくなかつたのですが、一般的の市民がそこに

入り、行政と一緒にになって自分たちの町のありようを考え、調査・研究をするという事例や機関は、残念ながらほとんどない。このセンターは、それをも担つていくことを目指しており、この点で他のNPOやサポートセンターとは違つているかも知れません」と語ります。

運営経費は会員会費と市からの補助金で賄っていますが、まだまだ助走期間もあり、「台所事情は大変。でも、地方分権や行財政改革といった流れが強まる中、私たちもののようなセンターは、これから地域社会に不可欠な機関。NPO法人格の取得はもちろん、これからはさまざまな収益事業も企画し、より足腰を強化していきたい」と今後の抱負を語ります。

毎月2回開催される会員交流サロンも順調な滑り出しをみせ、すでに幾つかのイベントも開催しております、「8月からは『やお未来塾』という、八尾の未来を市民にデザインしてもらう講座を開催する予定」ともいう八尾市民自治センター。本格的な活動は、これからがいよいよ本番です。



地域の欠かせない交流拠点として機能する
八尾市民自治センター

NPOの総合窓口がスタート

大阪府生活文化部「ボランティア・NPOグループ」

草薙勝之 主幹



NPO法（特定非営利活動促進法）の成立を機に、国（経済企画庁）や地方公共団体では、民間非営利組織（NPO）の活性化や行政との関係をどのように築いていくか検討に入っています。NPOの自主性や独立性を損なうことなく、どのように活性化するか、行政とNPOの関係をどう築いていくか、ここには様々な課題があるようです。

大阪府でも、今年4月、生活文化部の中に「ボランティア・NPOグループ」という新たな部署を設置しました。ここでは草薙主幹に、NPO法を中心にお話をうかがいました。

今年3月、「特定非営利活動促進法」いわゆるNPO法が成立し、ボランティア活動をはじめとする市民活動の活性化による、新たな枠組みづくりへの大きな潮流を実感しています。その流れの一員になれましたことに喜びを感じています。

現在の大阪府の取り組みとして、一つは、NPO法成立を機にNPOの力を大きくするため「大阪府民間非営利活動促進懇談会」（座長：木間正明、大阪大学副学長）を設置し、NPOの特性や役割を充分認識しながら、特定非営利活動法人を含む民間非営利組織（NPO）活動活性化のための方策や、NPOと行政・産業界とのパートナーシップのあり方にについて検討を行っております。それに加え、本年12月の施行を控え、NPO法の施行に関する条例案づくりや申請の手引書の作成を実施しています。

第二には、認証事務を行う行政の姿勢や法人格取得の効果についてです。行政は、法人による不正義の防止や結果責任を恐れるあまり、例えば、公益法人の認可にあたっても、慎重になりすぎた面が行政が社会的信用力を与えたものとして理解され、一方、仮に「悪質な行為が発覚した場合には、認可した行政が悪い」と批判されました。

NPO法は、行政が公益性を判断するのではなく、申請者の多様な価値観を認め、性善説にたって画面審査により判断することを求めています。従いまして、NPO法人は従来の意味での公益性を有する団体ではありません。多様な考え方を持つNPOが存在することになりますので、団体への評価にあたっては、市民個人個人が、自らの責任で判断することが必要なのです。

第三には、NPOセクターの成長と行政の肥大化への反対があります。NPO支援法ではなく、法人格付与法として要望され、成立したことは、行政や企業から独立し自らの活動を通じて、自力で善意の支援者の輪を広げていこうという意図的な姿勢の表れでしょう。NPO法の特徴としては、ひとつには、法人格が簡便に取得できることと、活動成果の情報公開義務でしょう。契約の締結や資産の登記などでお困りの団体にとって、過去の実績や当初の資産がなくてはなりません。NPO法人になることで、労力を伴いますが、情報公開を上手に活用すれば、人的・金銭的な支援者を増加させ、活動を強化することができます。

会計処理、税務申告、契約・約束、時間の遵守など、仮にこれまで、「ボランティア団体だから許される」と考えていた団体があるとすれば、早く、「大人の団体」になることが必要でしょう。最後に、「市民が主役の社会づくり」に向けて、ボランティア・NPOの皆さんと方と共に考え、行動したいと思っています。大阪府として、NPOの特性にあたるサポートについても検討していく必要があります。また、NPO法については、税制上の措置等法制度の検討が残されています。法の付帯決議にもありますように、運用の実態を見てということです。そこで、ここから2年が重要です。NPOの皆さん方は、法律制定に大きな力を入れていただきたいと思います。



ボランティア

Vクリッピング ボード

ボランティアをやってみたい!
そんなあなたに耳寄りな情報満載

ご利用に当たって

ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。

●このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧になれます。

<http://www.ovnet.or.jp/>



3

知的障害者と一緒に
バーベキューを楽しみましょう。

活動内容：知的障害をもつ「よーい・ドン」のメンバーが神戸農業公園でバーベキューをします。出かけるメンバーの介護を私達と一緒にしてください。

日 時：9月15日(祝) 9:30～18:00

場 所：神戸市立農業公園

(神戸市西区押部谷町高和1557番地の1)

阪急宝塚線 岡町駅 9:30に集合

費 用：集合場所までの交通費は自己負担。

問合せ先：TEL 06-852-5946 FAX 06-852-5946

簡易通所作業所「よーい・ドン」

(担当／下崎 美津子)

申込締切日：1998年9月14日

1

外国人への多言語健康診断の
通訳のご協力をお願いします！

活動内容：健康診断当日の多言語による通訳・電話対応をお願いします。また、当日までの準備(翻訳など)・健康診断の翻訳をしてくださる方も募集します。

日 時：火・水・金

場 所：多文化共生センター

(大阪市東成区中道1-10-19 レジデンスカナイ2階)

JR大阪環状線 森之宮駅 徒歩10分

地下鉄中央線 森之宮駅 徒歩10分

募集対象：高校生・専門学校・短期大学・大学生・成人／初心者・親子での参加・外国人歓迎。

費 用：交通費は基本的に自己負担。

問合せ先：TEL 06-973-7506 FAX 06-973-7516

多文化共生センター

(担当／谷垂紀子)

4

知的障害者が会議に参加します。
一緒に参加しませんか。

活動内容：国障年豊中市民連絡会議の総会があります。知的障害をもつ「よーい・ドン」のメンバーが会議に参加するのにつきそってメンバーの介護をしてください。

日 時：9月12日(土) 14:00～17:00

場 所：豊中市障害福祉センターひまわり

合：「よーい・ドン」

(大阪府豊中市桜塚5-8-1)

阪急宝塚線 服部駅 徒歩10分

募集対象：どなたでもけっこうです。

問合せ先：TEL 06-852-5946 FAX 06-852-5946

簡易通所作業所「よーい・ドン」

(担当／下崎 美津子)

申込締切日：1998年9月11日

2

ワンワールドフェスティバル'98
ボランティア募集。

活動内容：みんなが共に生きる世界をつくるために、一人ひとりができる事を考えようという国際協力のお祭り。ボランティアサポーター20名と当日ボランティア200名を募集。当日ボランティアの説明会は9月26日14:00～16:00(地下鉄谷町九丁目駅下車徒歩10分、近鉄上本町駅下車徒歩5分)。原則として、説明会には必ず参加。

日 時：10月18日(日) 10:00～16:00

場 所：花博記念公園鶴見緑地(大阪市鶴見区)

長堀鶴見緑地線 鶴見緑地駅

問合せ先：TEL 06-773-0256 FAX 06-773-8422

関西国際交流団体協議会内 ワンワールド・フェスティバル'98運営委員会事務局

申込締切日：9月21日



Vクリッピングボード



「いわき生野学園祭」で バザー、模擬店のお手伝いを。

活動内容: 地域との共催で「いわき生野学園祭」を開催します。いろいろな催しのお手伝いをしてください。
日 時: 9月20日(日)
場 所: いわき生野学園
(大阪市生野区小路3-19-19)
地下鉄千日前線 北巽駅 徒歩5分
募集対象: 高校生以上(概ね10~40歳代)／初心者・グループ・親子での参加・外国人歓迎。
費 用: 交通費は自己負担。昼食は施設で準備。
定 員: 50人
問合せ先: TEL 06-753-1121 FAX 06-753-1123
(福)いわき学園 いわき生野学園
(担当/繁岡稔和)
申込締切日: 1998年9月10日



地域まるごと健康づくりを目指し、 3万人が健康まつり。

活動内容: 高齢者、障害者の当日参加者の介助。健康まつり、各コーナー(体力測定、子どもコーナー、趣味のコーナー、リサイクルバザー等)のお手伝い。障害者の移送。
日 時: 10月31日(土)、11月1日(日)
10:00~14:30 雨天決行
場 所: 大阪府鶴見緑地公園「水の館」周辺
募集対象: どなたでもけっこうです。
問合せ先: TEL 06-932-0506 FAX 06-933-0173
城東鶴見保健生協ボランティア委員会
(担当/林 知子)



一芸ボランティア募集! 作業所の イベントで漫才、バンド演奏を!

活動内容: 住之江区の知的障害児(者)作業所「住之江木の実園」の「木の実園まつり」で、漫才やバンド演奏をしてください。内容については主催者と相談しながらつめていきます。他にも披露できる一芸のある方はお申し出ください。
日 時: 10月25日(日) 11:00~14:00
場 所: 大阪市住之江区役所裏グラウンド
募集対象: 高校生以上(概ね10~60歳代)／男女／グループでの参加・外国人歓迎／技術を持っている方。
問合せ先: TEL 06-357-5741 FAX 06-358-2892
(福)大阪ボランティア協会
(担当/南)



在日韓国・朝鮮人の 老人ホームでのボランティア募集。

活動内容: お年寄りの生活全般に対する援助です。ADLに合わせたレクリエーションと一緒にしたり、話し相手となって高齢者の心のケアをしていただけませんか。
日 時: 毎日9:00~19:00の間、いつでも可
場 所: 故郷の家デイサービスセンター
(大阪府堺市桧尾3360-12)
泉北高速線 光明池駅 バス12分
JR阪和線 鳳駅 バス12分
募集対象: どなたでもけっこうです。
費 用: 交通費、食費は自己負担。
問合せ先: TEL 0722-71-0881 FAX 0722-71-5474
(福)こころの家族
(担当/村上信代)



高齢者の話し相手、サークル活動 などのお世話を手伝ってください。

活動内容: 老人デイサービスでの高齢者の話し相手を募集しています。
日 時: 月曜日~金曜日 10:00~16:00
都合のよい時間に
場 所: ケアハウス サニーヴィラ
(和泉府中市府中町5-8-14)
JR阪和線 和泉府中駅 徒歩12分
募集対象: 高校生、専門学校・短期大学・大学生、成人／初心者・グループでの参加・親子での参加・外国人歓迎。
費 用: 交通費は自己負担。
問合せ先: TEL 0725-45-4565 FAX 0725-41-0084
(福)清水会
(担当/武井真規子・山崎喜美)



難病患者の交流会を 一緒に盛り上げましょう。

活動内容: 保健所主催の「なんとふれあい会」(障害者と難病者の交流会)を月1回行う際の、車イス介助やレクリエーションと一緒に楽しめる方や交流会の企画・運営をしてくださる方を募集します。
日 時: 1998年 10月2日(金)、11月6日(金)、12月4日(金)、1999年 1月8日(金)、2月5日(金)、3月5日(金) 12:30~16:00
場 所: 高槻市立障害者福祉センター
(高槻市城内町1-11)
阪急京都線 高槻市駅 徒歩10分
募集対象: 専門学校・短期大学・大学生、成人／初心者歓迎／各日男女2名ずつ。
問合せ先: TEL 0726-83-2200 FAX 0726-83-2200
高槻市ボランティアセンター
(担当/人見・松永)



14

肢体不自由の通所生と コミュニケーションを図りましょう。

- 活動内容** 肢体不自由の通所生の作業(主に陶芸、ワープロ、アートフラワー)の補助と話し相手をお願いします。
- 日 時** 月曜日～金曜日 9:30～15:00
(午前、午後のみでも可)
- 場 所** 近鉄南大阪線 藤井寺駅 徒歩13分
- 募集対象** 専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～60歳代)
- 問合せ先** TEL 0729-55-0653 FAX 0729-55-0905
(福)賀光会 賀光寮
(担当／野崎浩司)

15

ボランティア活動に関心のある人 参加してみませんか。初心者歓迎。

- 活動内容** 余暇活動の応援。初心者歓迎ですが、ヤル気のある方を希望します。活動場所が変わる場合は随時、連絡します。
- 日 時** 定例会 毎週水曜日 18:30～21:00
行 事 每月1回日曜日 9:00～17:00
- 場 所** 守口市社会福祉協議会
(守口市京阪本通2丁目13番1号 さつきホール守口内)
地下鉄 守口駅 徒歩3分
京阪 守口市駅 徒歩8分
- 募集対象** どなたでもけっこうです。
- 費 用** 交通費、行事の参加費等は各自負担。
- 問合せ先** TEL 010-957-5414
ボランティアサークルきんたろう
(担当／内田直樹)

16

施設入居のお年寄りとクラブ、 行事等楽しく過ごしませんか。

- 活動内容** お年寄りとの交流、話し相手、クラブ活動、行事での援助など。高齢者が好きな元気で明るい方なら、どなたでも結構ですのでお気軽に声をかけてください。
- 日 時** 月曜日～土曜日 9:00～16:00(相談可)
- 場 所** 軽費老人ホーム玉美苑
(東大阪市玉串元町2-12-20)
近鉄線 河内花園駅 バス10分
近鉄線 河内山本駅 バス10分
- 募集対象** 高校生以上(概ね10～50歳代)、初心者歓迎
- 費 用** 交通費、食事代は自己負担。
- 問合せ先** TEL 0729-61-2137 FAX 0729-64-5353
(福)玉美福社会 軽費老人ホーム玉美苑
(担当／法師純一)

11

インドプロジェクトの企画、翻訳、 資料作成ボランティア募集!

- 活動内容** 今年から3年間取り組んでいるインドの児童労働と子どもの参加の権利をテーマとしたインドプロジェクトで、ブックレット、絵本の製作、ワークショップ、シンポジウムを催す予定。企画、翻訳、資料作成を手伝ってください。
- 日 時** 火曜日～土曜日の週1回 13:00～18:00
- 場 所** 国際子ども権利センター
JR大阪駅 徒歩7分
阪急梅田駅 徒歩3分
- 募集対象** 小学生、中学生、高校生、専門学校・短期大学・大学生、成人／初心者歓迎。
- 費 用** 交通費は自己負担。
- 問合せ先** TEL 06-375-5466 FAX 06-371-7804
国際子ども権利センター
(担当／近藤・甲斐田・馬場)

12

施設内の喫茶室“ひまわり”的 お手伝いをして下さる方を募集。

- 活動内容** 施設内の喫茶室で知的障害のある当センター利用者と一緒に働いたり、お喋りをして頂ける方を募集します。
- 日 時** 火曜日、水曜日、木曜日 12:00～15:00
ご都合の良い時の参加OKです。
- 場 所** 大阪府立砂川厚生福祉センター
(大阪府泉南市馬場3-1566)
JR阪和線・和泉砂川駅 徒歩15分
- 募集対象** 専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～50歳代)／初心者・グループでの参加・外国人歓迎。
- 費 用** 交通費は自己負担。昼食は済ませて来てください。
- 問合せ先** TEL 0724-82-2881 FAX 0724-83-3312
大阪府立 砂川厚生福祉センター
(担当／吉川さと子)

13

手話の学習と、 地域の障害者との交流。

- 活動内容** 手話通訳を目指しての学習会。地域の障害者と交流し、お互いに理解を深める。障害者団体の行事への参加・協力をお願いします。
- 日 時** 水曜日 18:30～21:30
- 場 所** 池田駅前 南会館
(但し、第4水曜日は 大阪府池田市満寿美町6-23 池田市ボランティアセンター)
阪急宝塚線・池田駅 徒歩2分
- 募集対象** どなたでもけっこうです。
- 問合せ先** TEL 0727-53-8858 FAX 0727-53-3444
池田市社会福祉協議会



Vクリッピングボード

20

明るさ、元気さを
ふりまいてくれませんか。

活動内容：精神障害者(児)のための作業所を活気づけてくれる通所メンバーを求めます。当方中年職員2名ですので、行動力のある人、ご連絡ください！

日 時：月曜日～金曜日 週1日 11:00～16:00

場 所：手琴堂
(大阪市都島区都島本通1-21-3)
JR大阪環状線 桜ノ宮駅 徒歩12分
地下鉄 都島駅 徒歩5分

募集対象：専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～20代)／男性・初心者歓迎。

費用：レク活動費は当方負担。交通費支給。

問合せ先：TEL 06-357-5741 FAX 06-358-2892
(福)大阪ボランティア協会
(担当／南)

21

ダウン症の子どもたちの水泳教室を
お手伝いください。男性歓迎!!

活動内容：ダウン症の小学生12名が通う「ランコンツル水泳教室」の運営は母親が中心です。そこで男の子についてくださる男性ボランティアを求めてています。プール内での遊泳補助、更衣補助を手伝ってください。

日 時：土曜日 14:30～16:00

場 所：大阪市身体障害者スポーツセンター
JR阪和線・長居公園駅 徒歩5分
地下鉄 長居駅 徒歩5分

募集対象：高校生以上(概ね10～50歳代)の男性／初心者・グループでの参加歓迎。

問合せ先：TEL 06-357-5741 FAX 06-358-2892
(福)大阪ボランティア協会
(担当／南)

22

同じ困難をもつ人の
当事者活動を支援。

活動内容：セルフヘルプグループに関する電話相談、セミナー開催、出版その他の活動を手伝ってください。

日 時：毎週土曜日 14:00～18:00

場 所：大阪市立社会福祉研修センター
(大阪市北区同心1-5-27)
JR環状線 天満駅 徒歩10分

募集対象：専門学校・短期大学・大学生、成人(20歳以上)

問合せ先：TEL 06-352-0430
E-MAIL GHE01500@niftyserve.or.jp
大阪セルフヘルプ支援センター
(担当／大塚恵一)

17

高齢者とともに、有意義な時間を
過ごしてみませんか。

活動内容：高齢者の話し相手。レクリエーションの参加。簡単なお手伝い(お茶を出したり、配膳、下膳等)

日 時：月曜日～金曜日(できれば週1日ですが、いつでも結構です) 10:00～16:00

場 所：デイサービスセンター玉美苑
(東大阪市玉串元町2-12-20)
近鉄線 河内花園駅 バス10分
近鉄線 河内山本駅 バス10分

募集対象：高校生以上(概ね10～50歳代)／初心者・グループでの参加・親子での参加・外国人歓迎。

費用：交通費、食事代は自己負担。

問合せ先：TEL 0729-61-2137 FAX 0729-64-5353
(福)玉美福社会デイサービスセンター玉美苑
(担当／石井直樹)

18

リサイクル活動をささえてくれる方、
募集中!

活動内容：古紙、衣料、アルミ缶を回収する車両を運転してくださる方や週1回のその処理をお手伝いしていただける方を募集します。作業所のなかまと一緒に、リサイクル活動を支援してください。

日 時：水曜日、土曜日は午前中。その他、週1～2回以上ならいつでも可(16:00～18:00くらい)

場 所：大阪ひかり作業所(大阪市生野区田島5-11-26)
JR大和路線 東部市場駅 徒歩10分
地下鉄千日前線 今里駅 バス10分

募集対象：専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～50歳代)／初心者歓迎。

費用：交通費程度は支給。昼食、夕食は実費程度支給。

問合せ先：TEL 06-357-5741 FAX 06-358-2892
(福)大阪ボランティア協会
(担当／南)

19

障害のある人たちと共に
様々な活動をしましょう。

活動内容：身体障害者(児)の作業訓練の手伝いやクラブ活動の補助をしてくださる方、ご連絡ください。

日 時：月曜日～金曜日 9:00～16:00

場 所：大阪府門真市桑才新町24-1

募集対象：高校生以上(概ね10～50歳代)／初心者・グループでの参加歓迎。

費用：交通費自己負担／給食が必要な場合は350円。

問合せ先：TEL 06-905-1397
(福)門真共生福祉会 ジェイ・エス・ステージ
(担当／木村真記)

[レポート]

サマー・ボランティア体験プログラム

この夏も府内各地で素敵な交流

7月から8月にかけて、今年も大阪府社会福祉協議会・大阪府ボランティアセンターでは、市町村社協との共催により、ボランティア体験プログラムを実施しました。今年の参加者総数は約千三百人。大阪府内の福祉施設内外で行われた338プログラムに、小学生から社会人、高齢者までさまざまな年代の方々が参加し、素敵なかつらうわの交流を繰り広げました。

イベントの手伝いや、食事や入浴の介助、話し相手になるといった活動の中で、ボランティアの面白さを発見したり、新しい友だちを作ったり…。本号では、プログラムの中から4カ所をピックアップして、有意義な夏を過ごされたボランティアの表情をレポートします。

保育園で園児とプール遊び

堺市・龍谷保育園



プール遊びを通じて、初対面の子供たちともすぐに打ち解けました

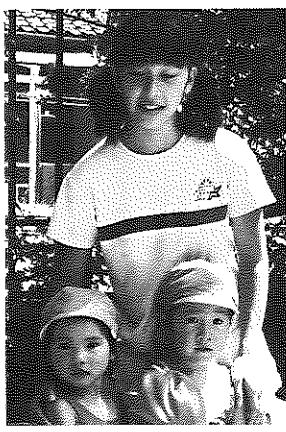
日課の第一は、プールの時間に園児の遊び相手になること。水を怖がって泣く子をなだめたり、けんかの仲裁をしたり…、忙しいけれども子どもとの楽しいふれあいのひとときです。また、着替えや給食の配膳、昼寝の用意なども手伝えます。

子どもと接する中で、音峰さんが苦手とするのは、その「叱り方」。事前に、堺正教・龍谷保育園園長から、「子どものが安全を第一に考える」「叱る時は、頭ごなしではなく、ことばで諭して納得させる」という園の方針を説明してもらつてから活動に入つたのですが、いざやってみるとなかなか難しそうです。でも、ベテランの保母さんのやさしさと厳しさを兼ね備えた接し方を見ているうちに、愛情を持って叱るとはどういうことなのか…、少しずつ分かってきたといいます。

「先生、聞いて…あのね…」。Tシャツに短パン姿の「にわか保母さん」の袖を引っ張る子どもたちは一日中後を絶ちません。

「保母さんの仕事ってどういうものだろう。私にもできるかしら…」。大阪千代田短期大学英米語学科の1年生音峰由季さんは、そんな好奇心から堺市・龍谷保育園での12日間のボランティア体験プログラムに参加しました。

「親からは『大変そうだけど本当にできるの?』と心配されました。でも、ボランティアというより教育実習にきて勉強させてもらつてるような感じで、楽しんでいます」と、語ります。



子供たちとすっかり仲良しになった音峰さん

サマー・ボランティア体験プログラム
この夏も府内各地で素敵なお交流

福祉作業所を経て昭和57年に開設した「わかたけ園」。今では職員18名、通所者50名の知的障害者通所更生施設として、社会生活での自立に必要な指導および訓練を行なっています。課目



慣れた手付きで、次々と作業をこなしていく通所者たち

は木工、縫製、陶芸、軽作業などがあり、軽作業では近くの工場からプラスチック部品の組み立てや袋詰め、芳香剤の充填などを請け負い、現在は4社から仕事を受注しています。そんななか、今年もボランティアを募集。「16年前に発足してから職員や園生はほとんど同じ顔触れ。どうしても、毎日がマンネリ化してしまうので、雰囲気を変えるために、ボランティアの方々にお手伝いしてもらうようになつたんです。これからも新鮮なふれあいの場づくりのために、いろんな方にボランティアを体験してほしい」と、指導員の北西康伸さん。

参加者は学生が多かった去年などに比べ、今年は、主婦や会社を辞めて福祉関係の仕事に就くために、ボランティアを体験したいという人が増えたそ

守口市立わかたけ園

は木工、縫製、陶芸、軽作業などがあり、軽作業では近くの工場からプラスチック部品の組み立てや袋詰め、芳香剤の充填などを請け負い、現在は4社から仕事を受注しています。そんななか、今年もボランティアを募集。「16年前に発足してから職員や園生はほとんど同じ顔触れ。どうしても、毎日がマンネリ化してしまうので、雰囲気を変えるために、ボランティアの方々にお手伝いしてもらうようになつたんです。これからも新鮮なふれあいの場づくりのために、いろんな方にボランティアを体験してほしい」と、指導員の北西康伸さん。

葉書づくりを通して、 高齢者と楽しいふれあいのひととき

高槻市社会福祉事業団・山手デイサービスセンター

「この施設に来られる高齢者は、介助が必要な方が多く、職員はどうしてもそちらにかかりきりになる。そのため、ボランティアの人たちには、話し相手や一緒にゲームを楽しむといった、ひとときを共に過ごすことをお願いしています」と語るのは、高槻市社会福祉事業団の指導員・遠藤昌秀さん。

参加者は学生が多かった去年などに比べ、今年は、主婦や会社を辞めて福祉関係の仕事に就くために、ボランティアを体験したいという人が増えたそ

それ週に1回通う通所施設。1日約20人ほどが来訪し、リハビリに取り組んだり入浴を楽しんだり、さまざまなイベントに参加しています。

センターでは去年に引き続き、今年の夏休みも子どもたちのボランティアを募集。核家族化によつて失われつづある、高齢者とのふれあいをとりもどそうと、小学生の親子ペア、中学生、高校生のボランティアを募りました。

になるし、園に ottてもプラスになる。と思いボランティアを募集しました。子どもたちとの触れ合いを、学生さんなら進路決定の参考にしていただけるでしょうし」と、堀園長。それまであまり幼児に接したことのなかった音峰さんにとっても、子どもたちとの出会いはとても新鮮。学ぶことを多く、「できれば将来は保母の仕事をしてみたい」と思うようになったと

技能がなくても、子どもやボランティアに関心のある人なら誰でも参加できるこのプログラム。園では、来年も元気な園児たちと一緒に遊んでくれる人の参加を期待しています。

今年は2人の女子大生と主婦が1人、ボランティアには、主婦であり、今は福祉の専門学校へ通う学生でもある門真市の松本泉美さん(39歳)が参加。

「家族のことや高齢社会のことを考え、介護福祉士を目指して頑張っています。

だから、まずは自分の住む地域のボラ

ンティア活動に参加しようと思つたんです」と話します。

この日松本さんが参加したのは軽作業のグループで、車に置く芳香剤のビン詰め作業。「ボランティアに参加する

のは実は今日が始めて。だから大変だろうと思っていたのですが、園生たちはとても手慣れていて、どんどんと作

ですね。その姿を見ているうち、私も負けないように早く介護福祉士の資格が取れるように頑張らねばと、逆に励ましを受けたよう思いました」と松本さん。これからもいろんなボランティアに参加したいと語っています。

作業の合間に手芸や陶芸の製作室を見学し、手芸作品の繊細さや、素人では難しい電動ロクロを見事に使いこなす園生の姿にびっくりしたといいます。

「みなさん本当に素直で明るい人ばかりです」と話します。

「みんな本当にまじめで一所懸命です。仕事に対してもまじめで一所懸命

負けないように早く介護福祉士の資格が取れるように頑張らねばと、逆に励ましを受けたよう思いました」と松本さん。これからもいろんなボランティアに参加したいと語っています。



「お手伝いにきたのが、逆に勉強になりました」と松本さん

業が進んでいくんです。なんだかお手伝いに来たつもりが、反対に手伝つてもらつているような感じです(笑)と、はづかしそうに話します。

7月28日に行なわれた「ハガキづくり」には、親子3組を合わせた12名が参加。まず、ハガキの紙づくりからスタート。子どもたちが、水で溶かした紙をハガキの大木枠に広げていき、それを高齢者たちが、のりを溶かした水のなかで形を整えながら固めています。

最初、ボランティアの人たちは、日の前の高齢者にどう接すればいいのかわからなかつたようで、ちょっとびり緊張気味。それが伝わるのか、高齢者の方もどことなくとまどつている様子でした。しかし30分もすると、さすがに順応が早い子どもたち。お年寄りたちに自分から声をかけはじめ、静かだった部屋がだんだん活気づきます。出来上がったハガキにメッセージを書き始める頃には、筆書き間違えないようにと、一緒に何度も下書きをする姿も見られるようになります。



ボランティアを通じて親子のふれあいにもなったようです

りました。

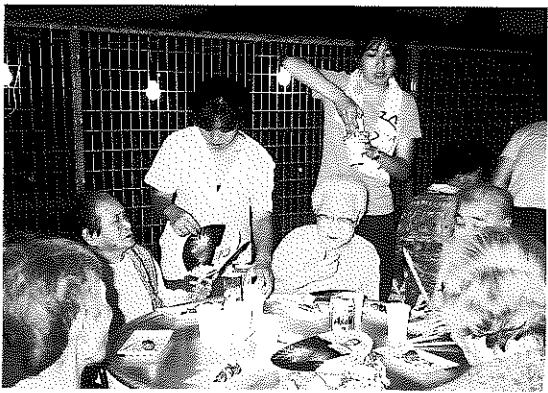
親子で参加した仲三千代さんは、実は社会福祉事業団の職員で、「娘にもボランティアというものを理解してもらいたくて参加しました」と話します。

娘の理奈ちゃん（小6）は、「緊張したけど、おじいちゃんもおばあちゃんもやさしかった」と、ほっとした様子。

また、「はじめてボランティアに参加したので、なんだか私たちの方が、高齢者のみなさん楽しませてもらつたという感じ。機会があればまた参加したい」と語るのは主婦の高田信子さん。

娘の奈津子ちゃん（小6）も「また遊びに来ることを、おばあちゃんと約束しました」と、うれしそうに答えてくれました。

みんなで作ったハガキは、子どもたちのメッセージを添えて、この日の思い出とともに高齢者の自宅へ送られます。



たくさんの入所者のお世話で、大忙しの植田さんと澤田さん

んに、ベテラン職員がお茶をついであげると、「気の抜けたビールやなあ」と冗談の出る場面も。そんな明るい場の雰囲気に、若いボランティアたちもいつしか打ち解けていきます。

待望の花火が夜空を彩る頃には、宴もたけなわ。ある入所者は、「ああ、きれい。テレビで見るよりずっときれい」と、しきりに感動していました。涼しい夜風に吹かれ、孫のようなボランティアたちと一緒に見る花火は、格別の美しさだったのでしょうか。

真夏の夜の夢のようなひとときの交流の後、ボランティアの人たちからは、「初めは不安だったが、話しかけると快く応じてくれたのでホッとした」、「いい汗がかけた」などの声が聞かれました。

参加者の中で、福祉の仕事に転職を考えている川本さんは、1日のボランティアでは物足りないと、同施設でもう1週間、日常介護のボランティアを続けることにしたといいます。

「ボランティアの醍醐味って何なのだろう?」そんな素朴な疑問を、去年も参加したシルバー・ボランティア養成講座修了生の2人にぶつけてみました。

すると、「ボランティアは無償ですが、員の的確な指示に、ボランティアたちも徐々に要領をつかんでいきます。

入所者の「ありがとう」の言葉に、少しすつ表情が和らぐボランティアたち員の的確な指示に、ボランティアたちも徐々に要領をつかんでいきます。

入所者の「ありがとう」の言葉に、少しすつ表情が和らぐボランティアたち員の的確な指示に、ボランティアたちも徐々に要領をつかんでいきます。

花火を見ながら高齢者と交流

河内長野市・長野敬老院

河内長野市上田町の長野敬老院に暮らす120人ほどのお年寄りの顔が、いきいき輝くのが8月1日。恒例のPL花火見物納涼会の日です。この日は

地域の有志から成る老人ホーム協力会の人たちや、地元の老人クラブの会員も集まり、交流を深めます。

今年は学生を含め16人のボランティ



「お年寄りの笑顔が私に元気をくれる」と川本さん

第17回 東大阪ふれあい広場

東大阪市のボランティア活動を紹介するボランティア・フェスティバルです。
日時／10月18日(日) 午前10時～午後3時
場所／東大阪市総合福祉センター

内容／福祉機器の展示、障害者・老人・施設児童の作品展示、
栄養・介護・ボランティア活動などの相談、模擬店、バザー、
演芸など

問合せ／東大阪市ボランティアセンター
TEL 06(789)55550

大阪府国際交流財団（OFT-X） ボランティア募集

OFT-Xフロア内には、国際交流に関心のある一般の方が自由に閲覧できる資料室を設けてあります。全国の都道府県・NGO・NPOなどから送付されてくる資料の分類・ファイリング・パンコ入力を手伝ってくださる方、ご連絡ください。

日時／10月2日(月)～14日(水)の3日間 10時～17時(休憩12時～13時)
謝礼／一日5千円(交通費込み)

問い合わせ／大阪府国際交流財団
大阪市東成区中道一丁目26番2号 桜町森ノ宮ビル10階
TEL 06(673)7500
FAX 06(673)7574

高齢者介護を考える映画会

ベストセラーになつたノンフィクション小説「薫落」が映画化されました。この映画を観賞しながら、高齢者介護の問題を市民の皆さんと考えたいと思います。

日時／9月15日(祝) 午後1時30分開場
場所／高槻現代劇場大ホール
主催／高槻市社会福祉協議会など
定員／千人 入場無料
問い合わせ／高槻市ボランティアセンター
TEL 0726(83)2200

ヒューマン・カーニバル

農中市内で行われてゐるボランティア活動を紹介するお祭りです。
福祉作業所がお店する模擬店やコンサートなどをお楽しみください。

日時／11月3日(祝) 11時～16時

第30回 全国ボランティア研究集会 北海道集会

場所／千里中央北広場(雨天の場合はワイルフサイエンスビル)
共催／千興会・農中市社会福祉協議会

内容／福祉作業所による模擬店、体験「一人、ふれあいコンサー

ト、ボランティアグループのぼっこコンテストなど

問い合わせ／社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

TEL 06(841)93388
FAX 06(841)23388

第34回 福祉大学講座

子どもから高齢者まで、すべての人が健康で幸せな生活を営むための福祉啓発講座です。

●9月26日(土) 午後1時30分～
開講式および講演「人間ばんざい」直木賞作家 難波利三さん

●10月7日(水) 午後1時30分～
講演「元気で長生きの「ツ」」

●10月17日(土) 午後1時30分～
講演「輝く今を生きていくために」

●10月24日(土) 午後1時30分～
講演「日本の伝統食」

●11月20日(金) 午後1時30分～
講演「市政について」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「人間ばんざい」直木賞作家 難波利三さん

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「元気で長生きの「ツ」」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「輝く今を生きていくために」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「日本の伝統食」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「市政について」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「人間ばんざい」直木賞作家 難波利三さん

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「元気で長生きの「ツ」」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「輝く今を生きていくために」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「日本の伝統食」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「市政について」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「人間ばんざい」直木賞作家 難波利三さん

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「元気で長生きの「ツ」」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「輝く今を生きていくために」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「日本の伝統食」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「市政について」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「人間ばんざい」直木賞作家 難波利三さん

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「元気で長生きの「ツ」」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「輝く今を生きていくために」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「日本の伝統食」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「市政について」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「人間ばんざい」直木賞作家 難波利三さん

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「元気で長生きの「ツ」」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「輝く今を生きていくために」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「日本の伝統食」

●11月23日(月) 午後1時30分～
講演「市政について」

様々な分野のボランティア団体が北海道で一堂に会し、フォーラムや分科会を通して、ボランティア活動の課題について考えます。
●11月22日(日)
①アソシエーションナルツアーアボランティアシアター(才観を通してボランティアについて考えます)③交流会
②フィールドワーク⑤園域協賛プログラーム(車いすで園館を歩く、おわびくりをテーマとしたフィールドワーク・発表会等通じての5園域で開催)④フォーラム
●11月23日(月)
①全体会(テーマ「わたし発・みらい」)②オブショナルツアーアボランティア(アソシエーションナルツアーアボランティア)③園域協賛プログラーム(宿泊・食費は別途必要)一部の分科会、フィールドワーク
参加費／① 日：5千円
2日以上：一般1万円
青年(23歳未満)5千円
② 日：5千円
青年(23歳未満)5千円
●11月23日(月)
場所／かどる2・7(札幌市)ほか
主催／第30回全国ボランティア研究集会運営委員会
社団法人日本青年奉仕協会
申込・問い合わせ／全国ボランティア研究集会 全国事務局
コマバボランティア情報活動センター
TEL 03(3460)0211
FAX 03(3460)03086
※締切は10月25日(日)

1998かがやきフェスティバル インエール・シティ

障害の有無に関わらず、「すべての人々が共生する社会」の実現を願つて開催するフェスティバルです。

日時／1998年10月25日(日) 11時～16時 雨天決行
場所／エル・シティ・ナンバウ(関西電力南港発電所内)

内容／桑名正博コノサー、車いすダンス、キャラクターショー、大道芸・縁日コーナー、富士大コーン、パリーアフロー、コーンバーなど。入場無料

主催／「98かがやきフェスティバル インエール・シティ」
実行委員会など

問い合わせ／実行委員会事務局 関西電力大阪南支店 技術課
TEL 06(676)2200

第7回 おおさかボランティアフェスティバル

作品・テーマ・出展・出演等募集中

(しめきり 9月21日)

大阪のボランティアのパワーを結集し、明るく楽しいボランティア活動のイメージを広げ、ボランティアと府民・関係者の交流と連帯、および一般府民へのボランティア活動の啓発を目的としてフェスティバルを開催します。ボランティア・一般府民など誰でも参加できます。

日 時 平成10年11月4日(水) 午後1時～4時

会 場 大阪府立青少年会館(文化ホール、プラネットホール、本館会議室)

参 加 費 無料

内 容 ●ボランティア芸能フェスティバル

●作品展示・即売コーナー

●展示・体験コーナー

●活動交流会

①食事サービスボランティア交流会 ②移送サービスボランティア交流会 ③学生ボランティア交流会

④在宅福祉・NPO団体交流会 ⑤こどもと教育ボランティア交流会 ⑥福祉マップづくり交流会

●映画 「友情」(上映 14:20～16:00)

——白血病と闘う中学生の友情の物語

大阪府
社会福祉大会
同時開催



主 催 大阪ボランティア推進府民会議

事務局 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会・大阪府ボランティアセンター

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

電話 06-762-9631 FAX 06-762-9679